

令和8年度 富士見中学校グランドデザイン

- 生徒の実態
- 素直さ、誠実さ
  - 粘り強さ
  - 穏やかさ、協調性
  - 自己表現が苦手
  - 自己決定の不安
  - 原体験や経験の減少
  - 個人差の大きさ

社会の変化  
VUCA、Society5.0、  
人口減少、少子化、  
高齢化…

学習指導要領  
令和の日本型  
学校教育

- 学校長の願い
- 安心・安全な学校
  - 協働によって探究、思考を深める授業
  - 自己決定と振り返りを往還しよりよい生き方を求め続ける生徒

ふるさと自然や文化を愛し、誇りを持ち、町づくりに参画しながら  
明日を啓くふじみの子（愛着・誇り・参画意識）を目指すために

- 保護者・地域の願い
- 日々明日を楽しみにする子ども
  - 基礎学力の定着
  - 挨拶・感謝のできる人
  - 広く豊かな人間関係
  - 豊かで充実した体験活動

学校教育目標 自ら考え、判断し、行動できる生徒

目指す学校像 ふるさと富士見に学び、ワクワクしながらチャレンジし自己更新できる学校  
(重点)

- 1 学びに向かう力、豊かな心を育む主体的な学びづくり
- 2 問いをもち、協働しながら探究的に学びを深める授業づくり
- 3 多様な人、郷土、社会とのつながりを深める学級、学年づくり

学びに向かう力、  
豊かな心

- 自己決定と振り返りを軸としたPD CAサイクルの確立 (自己管理能力、自己調整力)
- 仲間と共に磨きあう豊かな心の育成 (粘り強さ・挑戦心・心遣い・感謝・正直)

明日を切り拓く  
確かな学力

- なぜ、どうしてと考え追究する授業 (探究的な学び)
- 「なぜならば」と根拠を明確にする授業
- 「だとすれば」とつなげ、考え、創造する授業

つながる力  
(コミュニケーション力)

- 違いを受け入れ、違いから理解や思考を深める協働的な学び (多様性の尊重、多面的視野)
- 人・郷土・社会とつながる体験活動 (関係構築力)

指導場面及び指導の具体

教育課程柔軟化サキドリ研究校(R8・9)として柔軟に教育課程を編成

指導の重点

思考を促し、判断や表現を大切にする指導

【教科学習】

- ・問のある授業 (探究的な授業展開)
- ・学びの自己調整 (複線化、選択等)
- ・既習事項を活用し、教科の特性にせまる授業の構想
- ・実生活や社会事象との関連付け
- ・他者と関わる場面、振り返り場面の設定  
・主体的な取組を促す家庭学習の工夫

【総合的な学習の時間】

- ・富士見の自然、歴史、文化を知る体験的な学習
- ・地域課題や地域の人とのかわりから仕事の意味や自身の生き方や社会のあり方を考える学習 (アントレプレナーシップ教育の推進)
- ・課題設定→探究→振り返り→課題設定…のサイクルの実行による探究的な学び
- ・探究ウィーク等での個別課題探究
- ※満蒙開拓富士見分村の歴史、広島修学旅行などを通して学ぶ平和学習

【生徒会活動】

- ・生徒の主体性を重視し、新企画なども推奨する
- ・各活動ヘリアクションを返し、富士見中の生活を支え、良くしていることを実感させる
- ・活動報告の機会を設ける

健康について考え  
富士見に学ぶ食育・  
歯科・健康教育

【部活動】

- ・生徒の主体性等を育成する
- ・他校生との交流も活動に生かす
- ・支えてくださる方への感謝の気持ちを醸成する

他の世界に触れ、  
生き方を考える図書館教育

豊かな体験活動を通し自らのあり方を問う道徳  
(自問活動の推進)

多様性を受け入れ、互いの良さに学び、  
各人が可能性を追究する基盤となる人権教育

自立につなげていく生徒指導  
スケジュール手帳(全学年)の活用と相談の充実

富士見中三本柱【挨拶・清掃・合唱】  
【百鈴祭 心を磨く清掃】【合唱祭】  
・学級間交流、縦割り活動による学年間交流の機会をもつ  
・校外の人との接点を模索する

地域・家庭の支え

- ・学校の各種教育活動への理解と支援
- ・物的、人的支援
- ・補充学習の推進
- ・基盤となる基本的な生活習慣の確立
- ・「総合的な学習の時間」展開への支援

結果の共有  
学校評価アンケートの実施

- 令和8年度 特に重点とする指標
- ・学校評価アンケート「自分で計画を立てて勉強している」の肯定的評価を60%以上にする。(R7 51.1%)
  - ・学校評価アンケート「学校に来るのが楽しい」の肯定的評価90%以上を継続する。

結果の分析と  
活用